



# 環境大レポート

第37号

Sept. 2021

K A N K Y O D A I R E P O R T



特集

2001-2021

TUES 20 years history

## 開学20年のあゆみ



キャンパスピックアップ

卒業生からのメッセージ

4



就職支援

2021年度卒業生 就職・進学情報 就職支援

5



人事報告

着任挨拶

6



研究紹介

「1足す1が1」になる“世界”で、未解決問題に挑む  
人間形成教育センター 久保 奨 准教授

7

2 3



教員著書紹介

環境学部 浅川滋男 教授 / 経営学部 柳年哉 教授・川崎純宗 准教授

7



国際交流

留学に行きます！

8



クラブ&サークル活動

新型コロナウイルス感染症への対応

バドミントン部・森の住人部 / 新型コロナウイルス感染症への対応

9



プロジェクト研究

テニスの科学

10



キャンパスニュース

TUESレポートより

11



学生紹介

難関資格合格者

11



お知らせ

PRコーナー / 主なスケジュール 2021年9月から2022年3月まで

12

■ 公立化

2008年4月に理事会の諮問機関として学内外の有識者15名で構成する「鳥取環境大学改革検討委員会」が設置され、大学改革についての調査・検討が開始されました。2010年1月に同委員会から理事会に報告書が提出され、理事会では5月に鳥取県知事、6月に鳥取市長に対し、2学部2学科への学部・学科改編の基本構想と学内改革の状況を報告し、大学の公立化の協議を要請しました。鳥取県と鳥取市は共同で、有識者で組織する「鳥取環境大学改革案評価・検討委員会」を設置し、同委員会は8月に知事・市長に報告書を提出しました。同年10月に「新生公立鳥取環境大学設立協議会」が設立され、2012年4月の公立大学法人化のための準備が開始されました。2001年4月に公設民営の大学として開学した鳥取環境大学は、2012年4月公立大学法人鳥取環境大学として環境学部環境学科、経営学部経営学科を擁する2学部2学科の体制で新たにスタートしました。その後、2015年4月に大学の名称を「公立鳥取環境大学」と変更しました。

■ 公立化後の新たな教育・研究施設、環境の充実

2012年に公立大学としてスタートした後、英語村グランドオープン(2013年)、まちなかキャンパス(2014年)、実験研究棟(2016年)、新講義棟(2017年)、岩美むらなかキャンパス(2018年)と次々に新たな施設を整備し、学生への教育・研究環境を拡充させています。2021年度には20周年記念事業の一環として、学生に「マル5」と親しまれて利用されてきた「4105学生研究室」を主体的な学修活動空間「スチューデント・コモンズ」の一部としてリニューアルします。学生同士の学びの交流と相互啓発スペースとして活用されることを期待しています。また、ハードウェア面の整備だけではなく、学生による学修支援チーム「スチューデント・ピアサポーター」の立上げも計画しています。学生同士による学修支援を行うことにより、学生同士の縦横のつながりを活性化させ、学修意欲の向上につなげることを目指しています。



3月 第1回学位授与式を挙行  
鳥取公立大学同窓会設立

4月 大学院修士課程「環境情報学研究所」を設置

4月 学長に古澤巖就任  
6月 CO2削減を目的としたエコプロジェクト始動  
10月 学章決定



2000 11月 ユニテック工科大学との交流協定締結  
12月 文科省より大学設置許可

1999 3月 「鳥取環境大学設立準備財団」設立  
12月 建設工事開始

2010 1月 改革検討委員会答申  
6月 開学10周年記念式典  
10月 新生公立鳥取環境大学設立協議会 設立

2009 4月 I学部4学科の新体制へ改組  
7月 サステイナビリティ研究所設立

2008 4月 「鳥取環境大学改革検討委員会」設置

2007 4月 スクールバス運行開始  
8月 清州大学校(韓国)との交流協定締結

2006 4月 人間形成教育センターを設置

2005 2月 ISO14001 認証取得  
9月 オーフス建築大学(デンマーク)との交流協定締結  
10月 ロシア極東国立総合大学(ロシア)との交流協定締結

2003 2月 清州大学校理工科大学(韓国)との交流協定締結  
7月 パリ・ベルビル建築大学(フランス)との交流協定締結

2001 4月 鳥取環境大学 開学(理事長 八村輝夫・学長 加藤尚武)



2017 4月 大学院修士課程(環境経営研究科)設置  
出張英語村の活動開始  
9月 実験研究棟 稼働開始

2015 4月 理事長兼学長に高橋一就任  
6月 公立鳥取環境大学  
まちなかキャンパス開設

2014 6月 英語村グランドオープン

2012 4月 公立大学法人鳥取環境大学設立(理事長兼学長 古澤巖)  
4月 地域イノベーション研究センター設置  
4月 吉林大学(中国)との交流協定締結  
5月 西部サテライトキャンパス開設(米子市)

2011 4月 サステイナビリティ研究所の施設完成  
10月 ウラジオストック国立経済サービス大学(ロシア)との交流協定締結  
11月 江原道立大学(韓国)との交流協定締結



■ 開学に至るまで

1970年代から鳥取市が女子短大や私立大学の誘致に取り組みましたが実現しませんでした。その後、1995年に鳥取商工会議所等から「東部地区へ公立大学を設置」についての要望が鳥取県及び鳥取市へ提出され、1997年6月に県と市が「大学設立準備委員会」を設立しました。同委員会で公設民営方式による新大学の設置について検討され、1998年に「新大学基本計画」を県議会、市議会に説明し、了承を得ました。1999年に鳥取環境大学設立準備財団が設立され、開学の準備が本格化しました。2000年12月に文科省からの認可を受け、2001年4月の開学が決定しました。



■ 大学開学

2001年4月に全国で初めて「環境」を大学名に冠する大学として開学しました。1学部3学科体制でスタートし、環境政策経営学科256名、環境デザイン学科107名、情報システム学科106名、環境学部全体で469名の新入生(1期生)を迎えました。1期生は学内外において積極的な活動行いました。本学の学園祭として定着した「環謝祭」も同年10月に第1回目が開催されました。



2021 8月 オープンキャンパスをWebで開催  
(新型コロナウイルスの感染拡大の影響)  
12月 セントラルクリスチャンカレッジオブカンザス  
(アメリカ)との交流協定締結

2019 4月 カッセル大学(ドイツ)との交流協定締結  
7月 学内全面禁煙に移行

2018 4月 理事長兼学長に江崎信芳就任  
4月 岩美むらなかキャンパス開設  
10月 SDGs取組宣言

2017 9月 新講義棟 竣工  
10月 トリニティウエスタン大学(カナダ)  
との交流協定締結

2016 4月 大学を「公立鳥取環境大学」に名称変更  
4月 学生生活・学外学修交通システム(現行)を導入  
文科省から地(知)の拠点(COC)大学に認定され活動開始  
出張英語村の活動開始



TUES Student Interview

# 卒業生からのメッセージ

公立鳥取環境大学では、2001年の開学後、4,000名以上の卒業生を輩出してきました。創立20周年を記念し、様々な分野で活躍する卒業生からのメッセージをいただきました。本学での学びが社会でどのように生かされているかこのメッセージを通じて感じていただければと思います。

### 質問事項-Question-

- 1 現在はどういったお仕事をされていますか。
- 2 本学ではどういったことを学びましたか。また、卒業後それがどのように生かされていますか。
- 3 公立鳥取環境大学、在学生へのメッセージをお願いします。



## 岡空 聡 (おかそら そう)

千代むすび酒造株式会社 社長室長兼製造部蔵人

環境情報学部 環境政策学科 2005年3月卒業 (1期生)

1 2005年4月、山陰合同銀行に入行。2017年9月、山陰合同銀行を退社。2017年10月、千代むすび酒造株式会社に入社。社長室長兼製造部蔵人(くらびと)として日本酒の製造、営業、社内の管理全般に関わり、次世代の経営者として経営面も学んでいます。

2 鳥取環境大学では、第一期生として入学し、一緒に入学した仲間と歴史を作っていくという意気込みで生活していました。中でもサッカー部の部長として約4年間、チームの皆を引っ張り、リーダーシップを養うことができました。その経験が今の仕事に大いに生かすことができます。

3 将来に向けて不安なことが多いと思いますが、人生は自分自身の気持ちの持ちようで大きく変わってきます。輝く未来が待っています。どんな壁にぶち当たっても、失敗しても前向きに取り組んでいけば、おのずと道が開かれます。夢や自分の将来像を描いていなければ、誰も導いてはくれません。自ら切り拓く、そのような大学生活を送ってください。失敗してもまだ若い! チャレンジあるのみです!



## 築谷 有理沙 (つくたに ありさ)

平林金属株式会社 えこ便事業部

環境情報学部 環境マネジメント学科 2015年3月卒業 (11期生)

1 現在、平林金属株式会社えこ便事業部に所属しています。有人型資源集積システムで、家庭で不要になった資源をリサイクルしています。正しいリサイクルを普及させることが第一の使命であり、日々、お客様が持ち込まれる荷物の荷下ろしや、輸送、事務作業など幅広く行っております。

2 「廃棄物について勉強したい!」という一心で入学し、廃棄物関連の授業では毎回心躍り、ワクワクしながら受けていました。卒業で取り組んだ生ごみコンポストは、今では生活の一部です。自分の好きな事・楽しい事には、時間も体力も惜しみなく遣うこと。ストレス発散にもなりますし、癒しになります。

3 開学20周年、心よりお祝い申し上げます。私は2011年に入学し、私立として入学した最後の代になります。更なる発展を遂げ、現在では多くの学生が入学し、より充実した環境が整ってきていることを非常にうれしく思います。現在、感染症拡大で大変な時期ではありますが、そんな大変な時期も乗り越えて、卒業式の時に「楽しかったー!」と言って終われるよう、本気で全力で楽しんでください。



## 高見 真由 (たかみ まゆ)

日本海ケーブルネットワーク株式会社 (NCN)

経営学部 経営学科 2019年3月卒業 (15期生)

1 現在鳥取県にあるケーブルテレビで働いています。弊社の提供するテレビ・ネット・固定電話・スマホサービスのうち、私はスマホサービスを担当しています。スマホの申込や操作など窓口に来社されたお客様の対応を行っています。

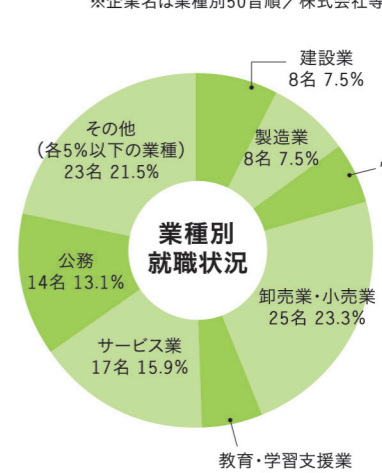
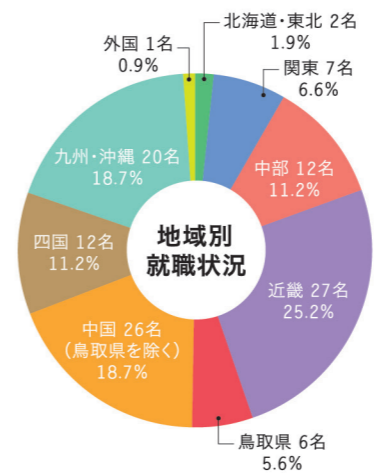
2 プロジェクト研究やゼミ、部活動など他学部や海外の学生、地域の皆さんなどたくさんの方と関わる機会の多い4年間でした。年齢も国も立場も違うので、自分の伝えたいことを分かりやすくどうやって伝えるか、相手の言いたいことをどうやって聞きだすかなどコミュニケーション能力が身についたと思います。窓口に来るお客様の大半は高齢者の方なので、分かりやすく伝える力は特に役立っています。

3 20周年おめでとうございます。講義やゼミ、部活動などワクワクすることばかりの4年間でした。現在は同窓会の幹事として活動しています。最近、コロナ禍でなかなか卒業生が交流できる機会がありませんが、学生の皆さんと一緒に環境大学を盛り上げられたらいいなと思います。

2021年3月卒業生の就職・進学先一覧を掲載しています。きめ細かな就職サポートの結果、就職内定率は全体で98.4%となりました。

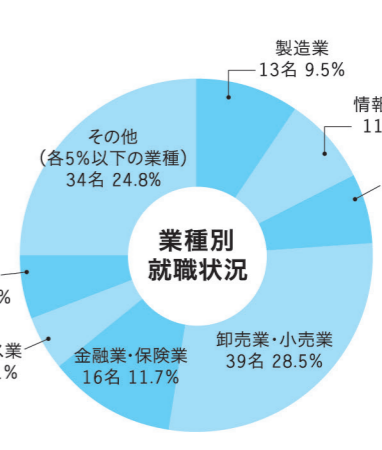
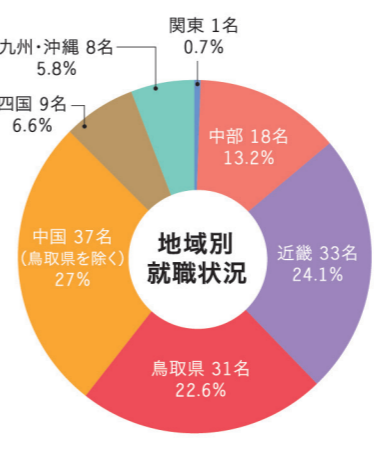
### 環境学部 就職・進学先一覧

【公務員】環境省、農林水産省(水産庁)、愛知県(農業)、大阪府、京都府(林業)、鳥取県(水産)、鳥根県(林業)、徳島県(農業)、愛媛県、鳥取市、森町(静岡県)、印南町(和歌山県)、若桜町(鳥取県)、陸上自衛隊 【教員】長崎県、大阪市、西宮市(兵庫)、南大東村(沖縄) 【大学院進学】北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、鳥取大学、広島大学、大阪市立大学大学院、兵庫県立大学大学院、公立鳥取環境大学 【一般企業】<農業・林業>山田農園北のあかり<建設業>ウッズカンパニー、木下エネルギーソリューションズ、九電工、第一技研、西原環境、ニッパホーム、福田造園土木、メタウォーターサービス<製造業>岩谷瓦斯、ウェルファームフーズ、オーニット、大日本除菌菊、徳真電機工業、日本板硝子、フジクリーン工業、山崎製パン<電気・ガス・熱供給・水道業>アイテック<情報通信業>インビリティ、NTT東日本、コックスプロジェクト、システムサーバー、テクノプロジェクト、日本海ケーブルネットワーク<運輸業・郵便業>エムケイ、JR西日本交通サービス<卸売業・小売業>イオンペーパー、イオンリテール、インフォアーム、エスマート、九州ケーズデンキ、ゲンキー、コタニ、湖東タックス、佐野電機工業、スマートテック、生活協同組合エコープ、ゼン・トレーディング、外林、ツルハグループドラッグアンドファーマシー西日本、鳥取東伯ミート、ナフコ、ナリカ、日興商会、福井県民生活協同組合、フジモトHD、扶桑電通、マルイ、ミツワフロンテック、ヤンマーアグリジャパン、リコージャパン<金融業・保険業>あいおいニッセイ同和損害保険、JA共済連鳥根<不動産業・物品賃貸業>アクティオ、カチタス、タカミヤ、帝人ヘルスケア、モリス<学術研究・専門・技術サービス>サンエイ、水工技研、大洋測量設計、TSP、フジみらい<宿泊業・飲食サービス業>ソイルセトク<生活関連サービス業・娯楽業>大木家、フォレストアドベンチャー朝来<教育・学習支援業>TBC学院国際情報ビジネス専門学校、ティプロス<医療・福祉>アースサポート(老人福祉事業)、五ヶ瀬町社会福祉協議会<複合サービス事業>南ひだ森林組合、福山市農業協同組合<サービス業>アース環境サービス、アースサポート(廃棄物処理)、イオンディライト、NTTファシリティーズ関西、クリタス、三光ホールディングス、水ingAM、ダイコー、鳥取市環境事業公社、日研トータルソーシング、ビーネックステクノロジーズ、ファノバ、ホーストラスト、マーキュリー、UTコンストラクション、ワールドインテック



### 経営学部 就職・進学先一覧

【公務員】津山市(岡山県)、新見市(岡山県)、鳥取市、東条町(愛知県)、神石高原町(広島県)、海上自衛隊 【一般企業】<建設業>AVANTIA、一畑工業、社長建設、中央建設、ヘルシーホーム、ヤマタホーム<製造業>安泰ニット、出雲村田製作所、大下産業、岡山木村屋、柿原工業、鹿島木材、加茂繊維、廣榮堂、寿製菓、是常精工、大山乳業農業協同組合、鳥取スター電機、山崎製パン<電気・ガス・熱供給・水道業>沖縄ガス、名張近鉄ガス<情報通信業>アイネットシステム、アクシス、アドヴァンスト・インフォームエーション・デザイン、システムエンタープライズ、システムズナカシマ、新日本海新聞社、ZEXIS、ソフィア、ナビオコンピュータ、ネットビジョンシステムズ、BUY THE WAY<運輸業・郵便業>エムケイ、岡山交通、カンダコーポレーション、JR西日本、日ノ丸自動車<卸売業・小売業>コスモス薬品、杉本商事、ゲンキー、イオンリテール、富士ゼロックス愛知東、山陰バナソニック、ザグザグ、日興商会、東京靴、ファミリー、ダンロップタイヤ四国、トップ産業、マツヤスーパー、高橋石油、プレひまわり、佐渡島、グッディ、島村楽器、白十字グループ、ベティオ、コスメック、宇都宮製作、ウェブシャーク、前嶋、スズキ自販静岡、ネットトヨタ兵庫、兵庫日産、神戸トヨペット、ユニコン、天満屋ストア、ムトウ、クラブス、有電社、大阪鐵材商事、伊丹産業<金融業・保険業>エヌケーシー、岡三証券、掛川信用金庫、かんば生命保険、山陰合同銀行、山陰信販、JA鳥取信連、但馬信用金庫、鳥取銀行、鳥取信用金庫、日本生命保険<不動産業・物品賃貸業>大阪トヨタ商事、カチタス、大東建託パートナーズ、ハウスドック<学術研究・専門・技術サービス>栗本ホールディングス、TETRAPOT、非破壊検査、フェイスグループ、まほろば税理士法人<宿泊業・飲食サービス業>エイチオーエス、エスエルディー、関西フーズ、ケイコーポレーション、大起水産、ワールドワン<生活関連サービス業・娯楽業>丸三、ルルアーク<教育・学習支援業>公立鳥取環境大学、ピーシーイングス田中学習会<医療・福祉>ニチイ学館、ヒューマンライフケア、兵庫県国民健康保険団体連合会<複合サービス事業>JA長崎県東、JA晴れの国岡山<サービス業>アースサポート(廃棄物処理)、オープンループパートナーズ、核物質管理センター、共同エンジニアリング、三機サービス、三光ホールディングス、東洋テック





# 着 | 任 | 挨 | 拶 | 3名の教員が着任いたしました。



2021年4月に環境学部に着任いたしました。

本学では教職科目の理科指導法及び教育の方法と技術等を担当します。今、「学ぶ」ということ  
の考え方に変化が起きています。教え教えられるという関係性から、学ぶ人を主体として学習を構  
築しようという考え方への変化です。学生たちは大学で学び、教員免許取得者は教職に就くと子  
どもたちを学ばせる立場になりますが、根底にある考え方が変わることはとても大きな変化です。そ  
のため学生には、そのような学びを体験的に身につけて欲しいと思っています。私は公立中学校教  
諭から県教育委員会、そして島根大学教職大学院と多様な場面で教育に関わってきました。その  
経験と得られた私自身の学びを学生たちに伝え、共に学ぶとともに、学生たちが自分の学びを自分  
でプロデュースできるようになることを願っています。

環境学部 千代西尾 祐司 教授



2021年4月に環境学部に着任いたしました。

緑地計画学を専門としており、景観生態学の理論や概念を、持続可能な社会に変革するた  
めに、緑地の適切な空間配置計画に応用する研究をしています。また、自然の恵みを社会資本整備  
や土地利用計画に活かす、グリーンインフラを用いた社会課題解決の研究も行っています。日本  
の地方都市は豊かな自然に恵まれていますが、都市部では残された自然や創出された自然、公園  
などのデザインや管理が課題です。農山村部では後継者・若者不足で、豊かな自然の管理が重要  
な課題になっています。こうした社会課題解決に生態系がもつ様々な機能を活かして取り組む活  
動を、私の研究室では行っていく予定です。インターネットで「鳥取から世界とつながる・発信す  
る」、そういった意気込みを持つ学生たちと共に成長していきたいと思ひます。

環境学部 加藤 禎久 准教授



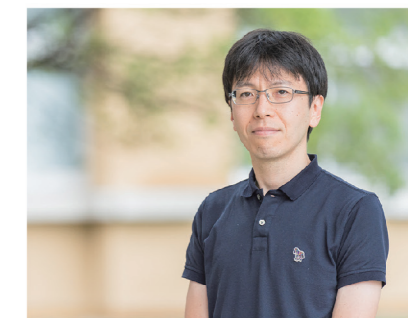
2021年4月に経営学部に着任いたしました。

本学では、「プロジェクトマネジメント」、「経営工学」などの講義を担当します。3月までは、情報  
システム関連の企業に勤務し、プロジェクトマネージャとして、主に製造業・流通業向け情報システ  
ムの設計・開発を行ってきました。最近ではIoTやビッグデータ解析、AIを活用したシステムの構築  
にも携わってきました。情報システムは、企業の基盤を支えるインフラから、新たなビジネスモデル  
を生み出すツールとして発展してきました。それに伴い、情報システムは大規模かつ複雑になってき  
ており、開発プロジェクトのマネジメントはより難しくなっています。こうした課題にどう取り組  
むべきか、企業での経験を織り交ぜながら、実務的な講義をしていきたいと思ひます。どうぞ、よろ  
しくお願ひいたします。

経営学部 齊藤 哲 教授

## 卓越研究員事業とは？

卓越研究員事業は、新たな研究領域に挑戦するような若手研究者が安定かつ自立して研究を推進  
できるような環境を、産学官を通じて実現するとともに、産業界をはじめとして、若手研究者が活躍し  
得る新たなキャリアパスを提示することを目的として、文部科学省において実施する事業です。  
(出典：日本学術振興会 <https://www.jsps.go.jp/j-le/>)  
本学の卓越研究員、久保奨准教授の研究内容を紹介します。



人間形成教育センター  
久保 奨 准教授

専門 オペレーションズ・リサーチ、応用数学

## 「1足す1が1」になる“世界”で、未解決問題に挑む

タイトル中の「1足す1が1」を見て、不思議に  
思われた方が多いかも知れません。もちろん、  
普通「1足す1は2」です。しかし、数学は自由な  
ので、様々な“世界”が構築されています。

私が研究対象にしているマックスプラス代数  
では、大きい方の値を取るマックス(max)と、普  
通の和を取るプラス(+)という計算を考えます。  
例えば、max{5,3}+4=9となります。そして、max  
を「⊕」、普通の和を「⊙」と書きます。つまり、この  
“世界”では、足し算がmaxで、掛け算が普通  
の和と定義します。こうすることで、我々が慣れ  
た計算とマックスプラス代数の対応関係が明

確になり、いろいろと見通しよく計算できるよう  
になります。マックスプラス代数では、1⊕1=1にな  
るわけです。

マックスプラス代数の性質をいろいろ調べるこ  
とも興味深く、必要なのですが、私はこれを具体  
的な問題に応用することに特に関心があります。

社会では、様々な分野でスケジューリング問  
題が出てきます。工場でいかに効率的に製品  
を作っていくか、サービス業でもいかに効率的  
に人員を配置するかといった問題です。こうし  
た問題を分析するのにマックスプラス代数が役  
に立つことがあります。例えば、作業Aと作業B



▲ 研究スペース。計算ノートも電子化。

### マックスプラス代数における基本的な対称式

◆例：2つの3次元ベクトル  $X, Y$   
 $\Phi_1(X) = x_1 \oplus x_2 \oplus x_3$   
 $\Phi_1(Y) = y_1 \oplus y_2 \oplus y_3$   
 $\Phi_2(X, X) = x_1 x_2 \oplus x_1 x_3 \oplus x_2 x_3$   
 $\Phi_2(X, Y) = x_1 y_2 \oplus x_1 y_3 \oplus x_2 y_3 \oplus x_3 y_2 \oplus x_3 y_3$   
 $\Phi_2(Y, Y) = y_1 y_2 \oplus y_1 y_3 \oplus y_2 y_3$   
 $\Phi_3(X, X, X) = x_1 x_2 x_3$   
 $\Phi_3(X, X, Y) = x_1 x_2 y_3 \oplus x_1 x_3 y_2 \oplus x_2 x_3 y_1$   
 $\Phi_3(X, Y, Y) = x_1 y_2 y_3 \oplus x_2 y_1 y_3 \oplus x_3 y_1 y_2$   
 $\Phi_3(Y, Y, Y) = y_1 y_2 y_3$

▲ こんな数式を考えていたりします。「⊙」は省略。それほど難しくはない！

の両方が終わった後に作業Cを行う時、作業が  
終わる時刻をe、作業を始める時刻をsとすると、  
 $s_c = e_a \oplus e_b$ と簡単に書けます。

スケジューリング問題は組合せ最適化問題  
の1つであり、原理的には全てのありうるスケ  
ジュールについて計算すれば、最適解を見  
つけられます。しかし、全てのありうる場合の数  
が膨大で、最新のスーパーコンピュータでも現  
実的な時間で計算できないことも少なくありま  
せん。しかし、問題によっては最適解が簡単  
に求まる場合もあります。最適解が簡単に求  
まる問題とそうでない問題の違いは何なので  
しょうか。これは、懸賞金100万ドル(1億円超)  
のミレニアム問題の1つ、P対NP問題にも関係  
する話です。こうした未解決問題の解明にマ  
ックスプラス代数を用いて貢献できないかと日々  
研究しています。

## 教員著書紹介

本学では、学術振興に寄与するとともに、研究成果を広く社会に発信し、還元することを目的として、本学教員の出版  
に助成をおこなっています。2020年度に出版助成を受けた著書が刊行されておりますのでぜひご一読ください。

### チベット仏教求法偈

能海寛と宇内一統宗教—明治の国粋とグローバリズム—

浅川 滋男 教授【環境学部】

日本で初めてチベット潜入に挑んだ僧侶、能海  
寛。能海唯一の著作『世界に於ける仏教徒』全  
篇の口語訳を通して、明治という時代の本質が  
浮かび上がります。宗教の過去・現在・未来をグ  
ローカルに見通す野心作です。



出版社：同成社 (2021/3/26)  
発売日：2021/3/26 言語：日本語  
単行本：375ページ  
ISBN-10：488621861X  
ISBN-13：978-4886218612

### 図解

簿記・会計の基本テキスト

柳 年哉 教授【経営学部】、川崎 紘宗 准教授【経営学部】

始めて学ぶ人向けの入門テキストですが、日商  
簿記検定の3級から説明し、より深い理解を得  
たい人のために1級の範囲までカバーしていま  
す。初心者でも理解できるよう、多くの図表や練  
習問題を用いて解説しています。



出版社：同文館出版 (2021/3/30)  
発売日：2021/3/30 言語：日本語  
単行本(ソフトカバー)：280ページ  
ISBN-10：449521022X  
ISBN-13：978-4495210229



## 国際交流プログラム

本学では、海外大学との交流協定に基づき、様々な学生交流プログラムを実施しています。海外の学生との交流や歴史・文化体験は、語学力や国際感覚を磨くだけでなく、視野の広がりや自己成長のきっかけとなっています。

詳しくはこちら!



## 留学に行ってきます!

これから海外留学に出発する本学学生にインタビューを行いました。



経営学部2年生  
くらなが あーく  
**藏永 愛久**

出身 鳥取県岩美町  
留学先 中国 吉林大学  
期間 2022年3月から1年間

持っていった方が良いものや服装等のアドバイスをもらっています。この間は、友人が手料理を振舞ってくれて、現地の料理の美味しさと辛さがよくわかりました。

※中国語検定…一般財団法人日本中国語検定協会が主催する中国語に関する検定試験



▲友人の料理。麻婆豆腐は激辛、ニラ玉は絶品だそう。

### 今回、留学を決めたきっかけは?

実は、もともと中国にも留学にも興味があったわけではないです。ただ、大学で何かしたいという漠然とした気持ちがありました。

そんな時、大学のガイダンスで今回の留学の話聞いて、直感的に行きたいと思ったと同時に、でも中国か、という複雑な気持ちも感じました。その時は中国に対していいイメージがなかったからです。でも、自分の中に偏見があることは分かっていたし、よく考えたら何も知らない国や人達のことをなんとなく嫌い・苦手ということに違和感を覚えました。苦手なものの良さや違う面が分かったとき、新たな価値観が備わり、自分の視野が広がるのではないかと、そう思い中国留学行きを決めました。

### 留学前の今、どう過ごしていますか?

まずは、中国語の勉強をしています。と言っても独学で、テキストを読んだり、大学の中国人の友人たちにLINE等で作文を見てもらったりしています。ゼロから勉強を始めたので、色々教えてくれる友人に本当に感謝しています。挨拶程度でも中国語でやり取りしていると、リスニング力がかかなり上がった気がします。直近の目標では、「中国語検定(※)3級」の取得を目指しています。

語学以外では、事前の情報収集や準備をしています。その面でも友人たちにはお世話になっていて、現地に

### 留学先でどのようなことを期待していますか?

色々なことを吸収して、今、自分が未熟に感じている部分を埋めたいです。

まず、多様な考えや異文化に直接触れて、柔軟な考え方ができる人間になりたいと思っています。

それと、今は自分の考えを表現することが苦手で、文章がうまく書けない、論理的な説明ができない、といったことがよくあります。留学に行くと、自分からどんどん表現しないと現地で生活できないし、コミュニケーションがとれない環境になるので、表現力を高められると思っています。



▲友人と会話を楽しみながら語学力を磨いています。

### 最後に、同じように留学を考えている人へ一言お願いします

考え込んでから行動するより、まず行動してみたいです。自分を変えるチャンス逃して欲しくありません。

藏永さん、ありがとうございました。加油!(頑張ってください!)



### バドミントン部

私たちバドミントン部は、週3回大学の体育館で活動しています。多くの部員がおり、初心者、経験者問わずみんなで楽しく活動しています。

部内の雰囲気もよく、誰でも気軽に話すことができ、大学生活の悩みなども相談することができます。ただ運動だけでなく先輩たちとの交流にもつながるため、より満足のいく大学生活を送ることができることも強みです。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で大会等には参加することが難しかったのですが、状況を見ながらにはなりますが大会等にも参加して自分の力を試すこともできます。

今年は、チーム一丸となってよい結果が残せるように頑張っていきます。応援よろしくお願いします。

代表: 大久保 健二 (経営学部 3年)



### 森の住人部

私たち森の住人部は、楽しく自由に安全にアウトドア活動しようというコンセプトのもと活動しているサークルです。2か月に1回程度活動しており、主にキャンプやボルダリング、登山などを行っています。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響でキャンプや釣りなどのアウトドア活動の人气が高まっています。しかし、知識不足によりマナーやルールを守る事ができず、事故やトラブルが増えていることをご存知でしょうか。

私たちは、アウトドア活動を通して必要な技術や正しい知識を身につけるとともに、危機管理能力も養っていきたくと考えています。また、鳥取の魅力や1番伝えられるサークルになれるよう頑張ります。応援のほどよろしくお願いします。

代表: 上田 啓太 (環境学部 3年)

## 新型コロナウイルス感染症に関連する本学の対応

4月15日~ 学内で1例目の感染者確認 12名のクラスター発生  
全学的なPCR検査実施  
休校、課外活動を禁止

4月26日~ 授業再開 遠隔授業  
※祝日・土曜日の一部で授業を実施

5月10日~ 遠隔授業、一部対面授業(環境学部実験、実習系授業)を開始

5月17日~ 対面授業、一部遠隔授業(受講人数の多い授業)を開始

5月24日~ 課外活動再開届、感染症対策届を提出した学生団体等から順次、活動を再開

7月3日~ ワクチン接種開始(学生、教職員、周辺の企業)

- ・左右1席ずつ空けた着席(着席してはいけない席にはシールを貼付)を指示
- ・学生のマスク着用を義務付け
- ・教員のマスク着用を義務付け(口元の動きを見せる必要がある場合はフェイスシールドも可)
- ・資料配布等の手渡し、回覧を禁止
- ・体調不良者は極力欠席させ、感染者、濃厚接触者は公認欠席
- ・上記の者に対してPowerPoint、音声、プリント等の授業データを提供



- 〈食堂〉
- ・座席数を減らし、対面で食事をしないように座席の配置を変更
  - ・営業時間中は常時窓を開放した状態で、換気された環境を確保

- 〈その他〉
- ・学内のエレベーターのボタン、スイッチへ抗菌シールを貼付
  - ・学内でPCR検査が可能(医療機関までの交通が不便等の理由で検査が困難な場合)

## 本学学生へたくさんの支援をいただいております

本学の学生のために多方面から寄付金、食料などの支援をいただいております。寄附いただいた多くの品々は、学友会を通して学生には配布しています。寄附そしてご支援いただきました皆様により御礼申し上げます。



▲あご入り鰯ふりだし (株式会社ハイセイ)



▲緑結び米 (農事組合法人やまかわ様)



▲星空舞 (鳥取県内3JA様・JA共済連鳥取様)

## 大学内での感染予防対策

- 〈通学〉
- ・バス内での3密を避けるため、スクールバスを増便
- 〈講義〉
- ・照明スイッチへ抗菌シールを貼付
  - ・講義室の入口、出口を指定
  - ・換気方法、時間を指定(開始30分後、終了10分前にドア、窓の開放5~10分程度)



プロジェクト名

# テニスの科学

プロジェクト研究「テニスの科学」では、テニスというスポーツを科学的に捉え、学生たちが自分たちで解明したい研究テーマを設定し、実験・調査の計画を立て、実際にテニスコートでの実験や動画での分析などを行い、研究テーマの解明に取り組みました。今回は、3つのグループに分かれて、研究テーマを設定しました。以下にその内容について簡単に紹介します。

### ①低身長選手が世界で活躍するための最も有利な戦術を明らかにする

BIG3(フェデラー、ナダル、ジョコビッチ)と呼ばれる男子テニスの強豪選手に対する錦織選手の戦術を分析した。試合動画からラリーの平均回数、ウィナーショットの種類と確率、1stサーブ成功率とポイント取得率など、様々なデータを計測し、分析を行った。

### ②ストリング(ガット)のテンションによる各ショットへの影響の違いを明らかにする

ストリングを40ポンドと50ポンドで張った同じラケット(Volkl DNX9)2本を用意し、各ショットを打った際のスイングスピード、回転、衝撃度をテニスセンサーを用いて調査した。また、ボールの飛距離、跳ね返り、など自分達で設定した指標についても実験を行い、どのような影響があるのかを検査し、プレースタイルに合わせたストリングテンションの提案を考えた。



### ③テニス初心者における最適フォアハンドグリップの解明

初心者がテニスを始める際に、どのようなグリップで握るべきかわからない場合が多い。テニス初心者にウエスタン、セミウエスタン、イースタングリップで握ってもらい、フォアハンドを先入観なしで打ち、その際のスイングスピード、衝撃度、回転をテニスセンサーで測定した。また成功判定(イン/アウト)、球種判定(フラット、スライス、トップスピン)も行い、初心者にとって最も上達しやすいグリップを検査した。

学生達が自ら「研究テーマ設定」、「研究計画策定」、「実験・調査」、「結果の分析」、「まとめ」を行うことで、研究活動のプロセスを楽しみながら学ぶことができたのではないかと考えています。



プロジェクトアドバイザー 環境学部 戸苅 丈仁 准教授

プロジェクトメンバー プロジェクト研究1

〈環境学部〉石橋 慎太郎、景井 佑多、多田 暁彦、堀田 千愛  
〈経営学部〉佐藤 航平、村田 優奈、米澤 勲名、渡邊 丈留

プロジェクト研究3

〈環境学部〉高野 颯太、里 夏希、高下 真優、舟木 拓真  
山本 亜未  
〈経営学部〉河野 楓、後藤 紅葉、辻 和孝、松田 英也  
松永 光晴

※今回ご紹介したプロジェクト研究は2021年度前期に実施したものです。

## 2021年度公立鳥取環境大学 学部・大学院入学式

令和3年4月4日(日)、とりぎん文化会館梨花ホールにおいて、入学式を挙行了しました。学部生318名(環境学部159名、経営学部159名)、大学院生7名が入学しました。

式典では、学部新生代表の森原優奈さんと、大学院新生代表の牧園善樹さんがそれぞれ入学宣誓を行い、森原さんは「環境と経営双方の視点を大切に、地域社会に貢献できる人材になりたい」と、今後の意気込みを述べました。

在学生代表の川口滉平さんは、新入生に向けて、「一日でも早く大学生活になじめるように、全力でサポートする」と歓迎の言葉を述べました。



▲(左)新入生の皆さん(右)学部新生代表による宣誓

## 一般財団法人日本きのこセンターと 公立鳥取環境大学の 連携・協力に関する協定を締結しました

令和3年5月27日(木)、本学サステナビリティ研究所ギャラリー・ホールにて、一般財団法人日本きのこセンターと公立鳥取環境大学の連携・協力に関する協定締結式を行いました。

これまで一般財団法人日本きのこセンターの菌叢研究所と本学は薬用きのこの研究や天然ゴムの分解に寄与する菌類の提供などで協力して参りました。今回、より広範囲に連携を深めることで、森林再生による温室効果ガスの削減、菌類機能の有効利用による循環型社会の実現、キノコビジネスによる地域の活性化、そしてそれらを支える人材の育成などを目指す目的で、この度、連携・協力協定を結ぶことになりました。

締結式では、初めに地域イノベーション研究センター吉永センター長、菌叢研究所長谷部所長から協定締結の経緯、目的、双方の期待についてお話をいただきました。協定書に署名後、本学江崎学長と一般財団法人日本きのこセンター常田理事長からお言葉をいただき、協定締結式を終了しました。



▲署名後、記念撮影をする江崎学長(左)と常田理事長(右) ※感染予防対策を万全に取り、写真撮影時のみマスクを外しています。

## 令和2年度 研究成果報告会を オンラインで開催しました

令和3年7月6日(火)に昨年度の研究成果を報告する「令和2年度サステナビリティ研究所・地域イノベーション研究センター研究成果報告会」をオンラインで開催しました。

報告会では、サステナビリティ研究所及び地域イノベーション研究センターの研究員12名がそれぞれの専門分野から持続可能な社会や地域課題の解決につながる研究成果の報告を行いました(うち4名の研究員につき事前録画配信を実施:6月23日(水)~6月29日(火))。昨年度に続き、コロナ禍という状況からオンラインによるライブ配信形式で報告会を開催しましたが、近隣自治体、法人、経済団体および一般の方々や本学学生を含む47名の方々にご視聴いただきました。

開会の挨拶でサステナビリティ研究所田島所長は、「本日の研究成果報告会は、本学の創立20周年記念事業の一環という位置づけもある。国連が2015年に掲げたSDGs(持続可能な開発目標)があるが、本学の開設時から目的の中に、持続可能な社会を形成しうる有能な人材を育成するという項目があり、この国連の活動と本学の目的が最終的に一致するところがある。そして昨年度4月からサステナビリティ研究所がSDGsの推進母体となって新たに活動を開始した。」と述べ、その後、研究員が順に定められた講演時間の中で端的にまとめて報告を行いました。

各報告後、参加者からチャットにより質問をいただき各研究員が口頭で回答しました。そして、地域イノベーション研究センター吉永センター長の挨拶で報告会を締めくくりました。

終了後のアンケートで、「研究の概要についてよく分かった。自身の研究及び発表の参考にしたい。」

「オンラインの報告会は、気軽に参加できた。専門外の経営や文化的なご研究も興味深く聞かせていただいた。」など沢山の声をいただきました。



▲挨拶する田島所長

## 中国税理士会と 公立鳥取環境大学の 寄附講座に関する協定を締結しました

令和3年7月16日(金)、本学本部講義棟3階大会議室にて、中国税理士会と公立鳥取環境大学の寄附講座に関する協定締結式を行いました。

中国税理士会は、中国地方の税理士約3,200名による団体で、税理士制度の調査研究の他、社会貢献事業として税務知識の正しい理解を目的とした租税教育にも力を注いでおられます。

既に中国地方の4つの大学に寄附講座を開設されており、この度、本学と寄附講座開設のため、協定を締結しました。

締結式では、寄附講座の地方税に関する講義を鳥取県職員が行われることから、平井鳥取県知事に立会人として参加いただき、寄附講座開設にあたって、期待のお言葉をいただきました。

その後、協定書に署名を行い、本学江崎学長と中国税理士協会海老沢会長からご挨拶をいただき、協定締結式を終了しました。



▲左から、江崎学長、平井知事、海老沢会長



## 学生が若桜学園の 夏休み学習支援教室に スタッフとして参加しました

この夏休み(7月21日(水)~7月30日(金))、若桜町教育委員会からの要請を受け、本学の学生17名が若桜学園の児童生徒に対して地域の支援者の皆さんと共に感染拡大の防止に留意しながら学習支援を行いました。

参加した小学生は52名、中学生は28名。子どもたちは、期間中いずれかの日に参加し、ドリルや問題集などの宿題のわからないところについて学生スタッフからアドバイスを受けました。

若桜町公民館を会場に、午前は小学生、午後は中学生と分けて、それぞれ90分間と120分間、6回ずつ開催されましたが、学生も自身の授業日程と調整しながら参加しました。

当初は、8月6日(金)までの予定でしたが、新型コロナウイルスの急拡大の状況を踏まえ、7月30日(金)をもって終了となりました。

2学期には、新型コロナウイルスの感染状況等を見ながら、放課後学習を今回と同じ学生スタッフでサポートする予定です。



▲(上)小学生に説明する学生(下)小学生の質問に答える学生

## 学生紹介 難関資格合格者



谷本 大樹 環境学部4年生

在学中に取得した資格と合格時期

2019年12月 水質関係第一種公害防止管理者  
2021年 2月 環境計量士(濃度関係)

公害防止管理者の試験に挑戦したきっかけは、水処理技術に関する授業を受け、資格の勉強を通じてより深く学びたいと考えたためです。環境計量士については公害防止管理者の勉強をする中で環境分析技術の理解が水処理技術へのさらなる理解に繋がると考えたためです。受験対策では、数年分の過去問題を解き、分からない部分を一つ一つ調べ、ノートにまとめました。同じ問題を10回以上解きました。それでも分からない部分は、戸苅先生、山本先生に質問に行きました。先生方は、それまでほとんど面識のなかった私に対して、多くの時間を割いて丁寧な質問への回答、解説をしてくださりました。

将来は、FIT制度などを活用しなくても採算を取れるメタン発酵施設の設計、開発に携わりたいと考えています。



宮崎 大和 環境学部4年生

在学中に取得した資格と合格時期

2018年1月 eco検定  
2021年2月 環境計量士(濃度関係)

将来、環境分析の分野で活躍したいと考え、環境計量士の試験に挑戦しました。まずは、図書館にある環境計量士の参考書や化学に関連する本を利用し、化学の基礎や分析化学について学びました。その後、過去問題を12年分解きました。大学図書館には、環境をはじめとして様々な分野の資格に関する参考書が揃っており、参考書を自分で買う手間が省け、思い立ったらすぐに資格の勉強に取り組むことができます。また、合格者には受験料の補助\*があり、自己負担が少なく資格取得をすることができます。

大学卒業後は、化学分析の仕事に就くことが決まっています。化学分析のスペシャリストとして、環境保全に貢献したいと考えています。  
\*検定料助成制度…本学が指定する資格・検定を対象に受験料(検定料)の1/2(上限3,000円)を助成する制度です。



## 開学20周年 記念式典のお知らせ

記念式典、記念講演の様子をオンラインで配信します。是非ご覧ください。

**日時** 10月30日(土) 10:00-11:40

**講師** 講師: 國部 克彦氏  
(神戸大学大学院 経営学研究科教授)

●視聴無料 事前申し込み不要  
視聴方法はHPでご案内します。



## 公開講座 2021

本学では一般の方を対象とした公開講座を実施しています。オンデマンド動画配信もありますので、ぜひご視聴ください。(動画は随時更新中です。)

●講座情報や動画視聴はこちらから

公立鳥取環境大学 公開講座



環境大から、あなたへ!



知識は宝だ! 環境大の気軽に学べるラジオ

## KANラジオ

公立鳥取環境大学の教員が自身の専門分野や研究についてラジオパーソナリティとトークを展開する、気軽に学べるラジオ番組です。

FM鳥取で放送されたKANラジオの収録風景を本学公式YouTubeチャンネルからご覧いただけます。



●動画の視聴はこちらから  
本学教員の普段なかなか聞けない話や話をぜひご視聴ください!



## 主なスケジュール (2021年9月から2022年3月まで)

9/14	3年次編入学(環境)・大学院入試(1期)	入試広報課
9/21~9/24	後期ガイダンス	学務課
9/21~9/24	履修登録期間	学務課
9/27~10/8	履修科目変更期間	学務課
10/15	月曜日の授業/午後休講	学務課
10/16~10/17	環謝祭	学務課
10/18	午前休講	学務課
10/23~10/24	総合型選抜	入試広報課
10/30	20周年記念式典	総務課
11/13	保護者懇談会	学務課
11/20~11/21	学校推薦型選抜(III型)	入試広報課
11/23	学校推薦型選抜(III型)	入試広報課
11/27~11/28	学校推薦型選抜(I型)	入試広報課
12/29~1/3	年末年始	総務課
1/14	大学入学共通テスト前日準備(全日休講)	入試広報課
1/15~1/16	大学入学共通テスト(学内立入禁止)	入試広報課
1/20	プロジェクト研究発表会	学務課
1/31~2/4	後期試験	学務課
2/5	学校推薦型選抜(II型)	入試広報課
2/8~2/10	後期追試験	学務課
2/13	海外帰国生徒・社会人特別選抜	入試広報課
2/14	私費外国人留学生選抜	入試広報課
2/15	3年次編入学(経営)・大学院入試(2期)	入試広報課
2/25	一般選抜前期日程(学内立入禁止)	入試広報課
3/13	一般選抜後期日程(学内立入禁止)	入試広報課
3/19	学位授与式	総務課

※新型コロナウイルスの影響により、今後スケジュールを変更する可能性があります。  
変更があった場合は本学ホームページに掲載します。

## 公立鳥取環境大学 寄附金のお願い

学生支援及び教育環境の充実を目的として「公立鳥取環境大学基金」を設立しました。皆様から頂いたお志をこの基金の財源とし、修学援助など学生の生活や教育活動への支援及び教育研究施設・設備等の整備に活用させていただきます。※1口1,000円からのご寄附をお願いしています。



詳細はこちら

<http://www.kankyo-u.ac.jp/about/donation/>

〈お問合わせ先〉総務課財務係

TEL/0857-38-6705 E-Mail/zaimu@kankyo-u.ac.jp



## 「公立鳥取環境大学の今」を発信!

TwitterやFacebookページなどで公立鳥取環境大学の最新情報を発信しています。パンフレットや公式ホームページでは紹介しきれないニュースや出来事など「公立鳥取環境大学の今」を発信しています。



ソーシャルメディア公式アカウント一覧

[www.kankyo-u.ac.jp/about/social\\_m/](http://www.kankyo-u.ac.jp/about/social_m/)